

答練・過去問徹底活用ガイドンス

～新作問題（答練）と過去問をリンクさせる方法～

司法書士 福島聡司講師

1. はじめに

- ① 昨年の試験結果から見えてくる戦略
〈午前〉 30 / 35 (85%) 〈午後〉 24 / 35 (68%) 〈記述〉 36.5 / 70 (52%)
- ② 必殺光線なんてないから 泥臭く「条文・基本書・過去問題集」
 - ・長期合格者が口を揃えていること
 - ・書く派？読む派？音読派？
 - ・「自分の勘」は案外的を射ていると思う

2. 目標（ゴール）を再確認しよう

- ① 照準を来年7月本試験にあわせて考える
- ② 完璧だなんて思える日はたぶんきっと来ない
- ③ ゴールから逆算してみる

3. 年明けからの戦略について考えてみる

- ① 答練の性質について確認する
 - ・条文・テキスト・過去問・答練…それぞれの存在位置
- ② 1月から3月～直前期前の最後の自由について考えよう～
 - ・じつは一番大事な時期かもしれない
 - ・弱点克服はこの時期に
 - ・予定には「遊び」を作っておく

4. 答練と過去問をどう活用してゆくのか？〈択一編〉

- ① 伴走者（ペースメーカー）としての答練
 - ② 該当範囲の理解確認（弱点を知るため）としての答練
 - ③ 試験慣れとしての答練
 - ・時間・初見知識への対応・マークシートのぬり方など…
- (補足) モチベーション維持・起爆剤としての答練

5. これからの時期の答練でやってはいけないこと〈択一編〉

- ① 答練の復習はやってはいけない！
- ② 勇気をもってわりきる

6. 答練と過去問をどう活用してゆくの？〈記述編〉

- ① 択一における答練・記述における答練
- ② 初見でしか学べない野生の勘
- ③ 試験慣れとしての答練

・答案構成派？書き込み派？

(補足)モチベーション維持・起爆剤としての答練

7. ただちょっと、記述における答練で注意してほしいこと

- ① 答案を構成するプロセスと実際に書くプロセス
- ② 記述答練で必要になる復習と切り捨てる復習
- ③ 間違いノートは必要か？

8. 記述においてどう過去問を活用してゆくの？

- ① 答案を構成するプロセスと実際に書くプロセス
- ② 記述答練で必要になる復習と切り捨てる復習
- ③ 間違いノートは必要か？

9. まとめ